

草地っ子だより

R6.3 .26 文責 草地小校長

6年間の学びを糧に さらなる前進を！

～卒業証書授与式～

3月19日(火)、第122回卒業証書授与式を挙行了しました。今年度の卒業生は、4名。仲がよく、やさしく、そして、最高学年として下級生をリードする姿を、あらゆる場面で見せてくれた子どもたちでした。式では、背筋をピンと伸ばし、堂々とした姿で卒業証書を受け取る4人。顔つきも凛々しく、小学校生活最後にふさわしい、下級生の見本となる立派な姿でした。

お別れの言葉では、在校生一人一人が、これまでお世話になった卒業生一人一人の、個別で具体的な思い出を振り返りながら、感謝の気持ちを自分の言葉にして呼びかけました。

(一部紹介)

☆**草地踊りの太鼓練習の時、叩き方を手を握って優しくていねいに教えてくれました。私は初めて叩く太鼓はむずかしく上手にたたくことができるか心配だったけど、おかげで「頑張っただけで覚えられそう」という気持ちになりました。**

☆**外で、サッカーをする時、負けても「ドンマイ」「次がんばろう」と前向きな言葉を言ってくれました。ありがとう。ほくも負けてもサッカーができたことが楽しいと思える言葉を言える人になりたいです。**

この呼びかけの言葉は、式本番まで卒業生には内緒にしていました。卒業生は、式の中で初めて聞く下級生の言葉の中からあふれる思いを受け止め、胸いっぱいになったようです。また同時に、保護者の皆様にも下級生たちの思いが届いたようです。

体育館から退場の時。ぐっところえていた涙も、感極まってこらえきれなくなった卒業生の姿があります。その姿を見た私たちの目頭も熱くなりました。

教室で担任との最後のひとときを過ごした卒業生は、下級生や職員に見守られながら校舎を去っていく予定でした。ところが、下級生全員が卒業生一人一人を取り囲んでしまいました。なかなか卒業生を離してはくれません。どの子も卒業生と別れがたいようです。そのような子どもたちの姿を見ながら、卒業生が下級生からいかに慕われ、大きな存在だったかということ、改めて感じざるを得ませんでした。



いよいよ4月から中学校生活が始まります。楽しい中にも、思うようにうまくいかな

いことに直面することがきっとあるでしょう。しかし、式辞の中でお話ししたように、困難なことにも打ちひしがれることなく立ち向かい、自分の夢実現に向け、前向きにチャレンジし続けてほしいと願っています。きっと皆さんなら大丈夫。職員一同、みなさんのことを応援しています！！

3月17日(日)、春日神社にて、地域の皆さまが、子どもたちの6年間の成長への感謝とともに、中学校生活での学業成就を祈願する「卒業感謝祭」を行っていただきました。雨天にもかかわらず、多くの地域の方がずぶぬれになりながら、記念の桜を植樹していただきました。自分たちのことを温かく見守ってくださる地域の方々の思いを目の当たりにし、地域のおさを体感することになり、気持ちを新たに貴重な時間となりました。



～育つ

**“きづき かしこく やさしく たくましい”
草地っ子～**

本日3月26日(火)、修了式を迎えました。この1年間、子どもたちに事故がなく、日々元気に過ごすことができましたことに安堵しています。

今年度「ふるさとを愛し 自ら高め合い 未来を切り拓く草地っ子の育成 ～きづき かしこく やさしく たくましく～」を学校教育目標に据え、さまざまな教育活動を通し、その実現に向け取り組んでまいりました。

今年度は、新型コロナウイルスが5類となり、運動会での地域の方の参加や相撲大会など、地域の方との連携も再開し、子どもたちにとってはこれまで以上にふるさと草地に目を向ける機会を得ることができました。また、確実に草地踊りの伝統を引き継ぐこともできました。

授業や児童総会等では、考えを出し合い、課題を解決していこうとする経験もたくさん重ねてきました。

そして、友だちの気持ちを考えながら接したり、優しい口調で友だちと話したりする姿が増し、「学校が楽しい！」と全ての子どもたちが答えてくれるようにもなりました。

私たち教職員自身が子どもたちに指示や支援をしすぎることで子どもたちの主体性を伸ばす場を奪っていないか見直し、子どもに対する声かけを変えていったことで、子どもたちにも自分で考え進んで行動しようとするたくましい姿が増えていきました。

学校生活のあらゆる場面でさまざまな経験をしながら、子どもたちは確実に本校のめざす子どもの姿に近づいています。草地小の子どもたちなら、さらに“きづき かしこく やさしく たくましい”草地っ子に近づけるはず。これからの子どもたちのさらなる成長を大いに期待しています。

この1年間、保護者の皆様、地域の皆様の本校の教育活動への温かいご支援・ご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。